

第七十四回帝國議會
衆議院

朝鮮事業公債法中改正法律案委員會會議錄(速記)第四回

會議

昭和十四年二月十四日(火曜日)午前十時三十七分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 菊池 良一君

理事田中 好君 理事森下 國雄君

栗山 博君

内藤 守正君 松岡 俊三君

松山常次郎君 沖島 鎌三君

木村 正義君 鈴木 文治君

同月十三日委員田川大吉郎君辭任ニ付其ノ補闕トシテ小田榮君ヲ議長ニ於テ選定セリ

出席政府委員左ノ如シ

大藏參與官 矢野庄太郎君

拓務政務次官 寺田 市正君

拓務參與官 江藤源九郎君

拓務省殖産局長 植場 鐵三君

朝鮮總督府政務總監 大野綠一郎君

朝鮮總督府財務局長 水田 直昌君

朝鮮總督府鐵道局長 工藤 義男君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

朝鮮事業公債法中改正法律案

朝鮮私設鐵道補助法中改正法律案(政府提出)

朝鮮鐵道株式會社所屬金泉慶北安東間鐵道買收ノ爲公債發行ニ關スル法律案(政府提出)

○菊池委員長 是ヨリ會議ヲ開キマス、審議ハ便宜上前回通り朝鮮ニ關スル議案ヲ一括シテ審議致シタイト思ヒマスガ、御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○菊池委員長 御異議ナイト認メマス、ソレデハ發言通告ノ順ニ依リマシテ發言ヲ許可致シマス——田中君

○田中委員 私人朝鮮關係ノ三法律案ニ付テ簡單ニ質問シタイト存ジマス、朝鮮關係ノ三法律案、何レモ交通關係ニ屬シテ居リマスノデ、先ヅ私人朝鮮ニ於ケル交通政策ヲドウ云フヤウニオヤリニナツテ居ルカト云

フコトニ付テ當局ノ御意見ヲ御伺シタイト思フノデゴザイマス、從來ハ朝鮮ノ交通機關ハ朝鮮單位デ計畫セラレテ居ツタモノト存ジマスルガ、又ソレデ十分デアツタト思フノデゴザイマスルガ、日滿支三國ノ經濟「ブロック」ト申シマスルカ、兎ニ角三國ヲ一ツモノニシマシテ、色々ナ資源ノ獲得トカ、色々ナコトヲヤラナケレバナラヌ現在ニ於キマシテハ、從來ノ朝鮮單位ノ交通機關ヲ設ケタト云フ其ノ方針ヲ改訂シテ、サウシテ支那滿洲ト云フモノヲ共通シテ交通網ヲ設定スルノガ必要デアルト思フノデゴザイマス、又サウ云フヤウニセナケレバ日滿支三國ノ圓滿ナル交通方出來得ナイト思フノデゴザイマスルガ、只今ノ朝鮮ノ交通狀況ヲ見テミマスルト、頗ル其ノ點ガ缺ケテ居ルノデハアルマイカト云フヤウナ感ジラ起スノデアリマス、例ヘバ此ノ滿浦鐵道ニ致シマシテモ或ハ惠山線ニ致シマシテモ、何レモ全部行詰リノ狀態ニアルヤウニ思フ

ノデゴザイマス、又東海北部線モ是ハ非常ニ滿洲ノ連絡上必要ト思フノデゴザイマスルガ、未ダ完成シテ居ナイ、兎ニ角一寸圖面ヲ見テ見マシテモ、直ぐ頭ニ浮ブモノハ滿浦本線ト惠山線或ハ東海北部線ト云フヤウナモノハ滿洲ト連絡ガ取レテ居ナイ、斯様ニ見ルノデゴザイマス、又道路ノ狀況カラ見マシテモ鴨綠江ヲ南ニ致シマシテ朝鮮ノ道路網ハ東カラ西ニ開イテ居リマスルケレドモ、滿洲トノ連絡ガ全部遮斷サレテ居ル、斯ウ云フヤウナ譯デ頗ル私ハ不備デアルヤウニ思フノデアリマスガ、滿洲トノ交通連絡ニ付キマシテドウ云フヤウナ協定ガ出來テ居ルノデアルカ、又出來テ居ナイトスレバ今後ドウ云フヤウニナサルカ、或ハ出來テ居ルナラバ其ノ内容、總督府ノ御方針ト云フモノヲ承リタイノデゴザイマス、勿論此ノ間頂戴致シマシタ要覽ヲ拜見シマスト、架橋ノ事柄ニ付テハ御協定ニナツテ居ルヤウニ思ヒマスルケレドモ、鐵道或ハ道

付託議案

朝鮮事業公債法中改正法律案(政府提出)
明治四十五年法律第二十三號中改正法律案(釋太ニ於ケル石炭ノ採掘ニ關スル件)(政府提出)
臺灣事業公債法中改正法律案(政府提出)
朝鮮私設鐵道補助法中改正法律案(政府提出)
朝鮮鐵道株式會社所屬金泉慶北安東間鐵道買收ノ爲公債發行ニ關スル法律案(政府提出)

路ト云フモノノ連絡ニ付テハ何等御計畫ガ
ナイヤウニ思フノデゴザイマスガ、其ノ點
一ツ詳細ニ御示シテ願ヒタイト存ジマス

○大野政府委員 只今洵ニ朝鮮ノ交通ノ現
況ニ即シタル御質疑ガゴザイマシタ、御示
シノヤウニ朝鮮ノ交通ハ滿洲國ノ建國、又
今日ノ北支ノ狀況ニ對應致シマシテ著シキ
變化ヲ來シテ居ルノデアリマス、隨テ貨客
ノ往來モ非常ニ激増致シマシテ、到底今マ
デノ儘デハ非常ニ交通上ノ支障、其ノ他諸
種ノ支障ガ出來テ居リマスルノデ、之ニ對
應スル爲ニ非常ニ苦心致シテ居ル譯デアリ
マス、何ヲ申シマシテモ今日ノ財政狀態、
又一方ニ於キマシテハ器材ノ關係モアリマ
スルノデ、中々之ニ追ッ付キ兼ねテ居ルヤ
ウナ次第デアリマス、併シ例ヘバ京義、京
釜線ニ致シマシテモ、今日ハ直接釜山カラ
北京ニ參リマス線モ出來テ居リマス、又御
說ノヤウニ直接新京ニ參リマス線モ出來テ
居リマス、併シアノ線モ御覽ノヤウニ平壤
京城間マデ複線ニナツテ居リマシテ、又京
城カラ大連マデ是モ複線ノ計畫ヲ殆ド完成
スル譯デアリマス、又三浪津カラ釜山マデ
ノ間ガ複線ニナツテ居ル、左様ナ譯デマダ
全般ガ複線ニナツテ居ラス爲ニ大陸トノ交
通ニ付キマシテハ少ナカラザル支障ガアリ

マスルノデ、今後は等ノ點ニ付キマシテハ
全線複線ニスルヤウナ計畫モ立テネバ
ナラスト考ヘテ居リマス、ソレカラ北
ニ向ッテノ線ニ付キマシテハ色々國防
上ノ關係モアリマスルカラハ私ヨリ詳細
ニ申上ゲニクイノデアリマスガ、御示シノ
例ヘバ滿浦線、是ハ大體ニ於テ滿洲ト話ガ
出來テ居リマシテ、滿洲ノ方モ四平街カラ
線ヲ延バシテ居リマシテ、本年ノ秋ニ滿洲
ヘノ交通ガ出來ルヤウニナツテ居リマス、
ソレカラ惠山線ノ方ハ御示シノヤウニ惠山
デ行詰リニナツテ居リマスガ、是等モ漸次
滿洲國ト協定ヲ致シマシテ、滿洲ヘ通ズル
ヤウニ致シタイト思ツテ居リマス、尙ホ其ノ
外、地圖ニゴザイマスルガ、中江鎮ト咸興
ヲ連絡スル咸中線ト云フノガアルノデアリ
マス、是ハマダゴチラデ調査ヲ致シテ居ル
程度デアリマス、是等モヤハリ滿鮮ノ連絡
ノ上ニ於テハ重要ナル線トナルト考ヘテ居
リマス、ソレカラ東海線ノ方ハ實ハ諸種ノ
財政計畫等ノ關係カラ、又器材等ノ關係カ
ラ、是モ只今僅ニ元山カラ襄陽マデ開通致
シテ居リマス、襄陽カラ江陵マデ工事ハ出
來テ居リマスルガ、マダ「レール」ヲ敷設シ
テ居ラスヤウナ狀況デアリマス、是モ中央
線ノ建設ニ伴ウテ總テ全部計畫ヲ立テ開

通サセナケレバナラス狀態デアリマシテ、
是ガ出來マスト、此ノ線ヲ通ッテ又北部ニ
行クト云フコトモ出來ル譯デアリマス、要
スルニ滿洲國トハ——是ハ現總督ニ於キマ
シテモ常ニ唱ヘテ居ルノデアリマスガ——
鮮滿一如ノ精神カラ交通ニ於キマシテモ双
方ノ連絡ヲ取りマシテ、交通上支障ノナイ
ヤウニ致シテ居ルノデアリマス、道路ノ問
題ハ先程御示シノヤウニ、十四ノ橋梁ニ付
テオ互ニ協定ヲ致シマシテ、架橋ノ約束ヲ
致シテ居リマス、併シ實ヲ申シマス、今
マデノ情勢ガ、或ハ邊境ノ治安ノ關係、匪
賊ノ關係等ガアリマシテ、ドツチカト申ス
ト成ベク道ヲ造ラナイヤウナ形ニナツテ居
ルツタ時代モアツタ爲ニ非常ニ遅レテ居リマ
ス、是モ遅レ馳セデハアリマスガ道路ノ開
通ニ伴ウテ自然ニ交通路ガ開ケルコト考
ヘテ居リマス、大體ニ於キマシテ御指示ノ
ヤウナ趣旨デ、大陸ニ向ッテノ鐵道、道路
ト云フヤウナ事柄ニ付キマシテハ十分考究
ヲ致シ、且ツソレ「出來タモノ」ニ付キマ
シテハ實行ニ移ス考デアリマス

○田中委員 私ハ滿浦線、惠山線ト云フモ
ノハ例ニ取ツテ申シタノデアリマスガ、詳
細ナル御答辯デ能ク分リマシタ、何故私ガ
左様ナ御尋フスルカト申シマス、先般滿
洲ニ參リマス、滿洲ノ方デハ實ニ完全ナ
ル交通網ヲ拵ヘマシテ、滿洲ソレ自身ハ實
ニ立派ナ交通計畫ヲシテ居リマスケレドモ、
滿鮮ノ境界ニ互ル所ノ交通網ハ一向向フモ
手ヲ著ケテ居ナイ、ドウ云フ譯カト云フコ
トヲ尋ネテ見マス、マア特殊ノ交通機關
ニ付テハ相談ハ一部分シタケレドモ、其ノ
他ハオ互ニ獨自ノ見地デヤツテ居ルノダト
云フコトヲ聽キマシテ、非常ニ私ハ遺憾ニ
思ツタノデゴザイマス、今御同致シマスル
ト、滿鮮一如トハ申サレマスルガ、ヤハリ
協定ガナイヤウニ私ハ思フノデアリマス、
是ハ滿洲ハ滿洲、朝鮮ハ朝鮮ト云フヤウナ
コトデ交通機關ヲヤラレタラ非常ニ間違ヒ
ガラウト思フ、勿論今ノ財政デ全部ノ交通
機關ヲ完備スルト云フコトハ、是ハ政務總
監ノ御話ノ通り困難ト思ヒマスケレドモ、
私ノ希望スル所ハ兩國ガ「一ツ」ノ「プラン」ヲ
立テテ此處ニハ鐵道ヲ敷設スル、此處ニハ
道路ヲ十分デアルト云フヤウナ、兩者ガ交
通上ノ協定ヲナサルコト云フコトガ最も必要
デハアルマイカ、ソコデ私ハ滿洲ノ當局ノ
方々ニ交通會議デモ開イテオヤリニナラナ
ケレバ禍ヲ將來ニ貽スノデハナイカト云フ
コトヲ申上ゲマシタラ、ソレハ非常ニ結構
デアル、結構デアルケレドモ中々旨ク行カ

ナイ、斯ウ云フコトヲ言ウテ居リマシタガ、何トカシテ一ツ今此ノ事業ヲヤルノデハナクシテ、或ル一定ノ交通網ノ御計畫ヲ立テラレテ、サウシテ兩者ガ御協議ニナルト云フコトガ最モ必要デアルト思ヒマスガ、サウ云フヤウニハ行カナイモノデセウカ、其ノ邊ヲ一ツ御意見ヲ承リタイト思ヒマス

○大野政府委員 只今御答辯申上ゲタヤウニ、例ヘバ道路網ニ付テハ個別的ニ橋梁ノ架設ト云フコトデ相談ヲ致シテ居リマス、又例ヘバ鴨綠江ノ水路ノ問題ニ付キマシテハ水路ノ會議ヲ致シテ居リマス、左様ナ譯デ個別的ニヤツテ居リマスガ、御示シノヤウナ全般的ノ交通網ノ問題、是モ考ヘ様ニ依リマスト關東軍等ガ中心ニナリマシテ、時々新京ニ於テ、或ハ又吾々ノ方ニ滿洲國ノ官憲ガ見エテ會議ヲ致シテ居ルコトハアルノデアリマスガ、御示シノヤウナ交通ノ幹線ニ關スル根本ノ會議ト云フヤウナモノハマダヤツテ居リマセヌケレドモ、十分一ツ考慮致シマシテ、出來得レバ左様ナ事柄モ進メテ見タイト考ヘテ居リマス

○田中委員 滿洲ノ方デハ其ノ事ノアルコトヲ希望シテ居ルヤウニ私ハ伺ヒマシタカラ、ドウカ一ツ兩者ノ圓滿ナル協議ニ依リマシテ、兎ニ角將來ニ應ズル爲ニ、適當ナ

交通網ヲ御設定下サランコトヲ切ニ御願シテ置キマス
私ハ其ノ次ニ移リマシテ、今回御提出ニナリマシタ買収法ト補助法ト改正ニ付テ御尋シタイノデゴザイマス、今回ハ金泉ト慶北、安東間ノ買収ダケニ止マツテ居リマス、是ハ昨年デゴザイマシタカ、我黨ノ綾部君ガ非常ニ力説ヲシマシテ、買収シテ貫ハナケレバナラスト言ウタ線ニ該當シテ居リマス、是ガ解決致シマシタコトハ、當局ニ感謝ス、是ガ次第デゴザイマスガ、私ハマダ此ノ一線ヲ以テ十分デアルトハ思ハナイノデゴザイマシテ、一ツ總督府ノ私設鐵道ニ對スル根本的ノ御考ヲ伺ツテ、サウシテ其ノ實行ヲ私ハ御願シタイト思フノデゴザイマス、是ハ此ノ間モ森下君ガ申シテ居ラレマシタ通りニ、朝鮮ノ私設鐵道ハ國有鐵道ノ代行線タル性質ヲ有シテ居ル、言葉ヲ換ヘテ申シマス、當初カラ國有鐵道デ敷設シナケレバナラナカツタ所ノ鐵道ヲ、財政上ノ關係デ會社ニ私設鐵道トシテ許シタノデアルト云フ性質ヲ持ツテ居ルノデゴザイマスカラ、本當ノ國有鐵道代行線ト云フ資格ヲ持ツテ居ルノデゴザイマス、デゴザイマスカラ、總督府ノ方モ補助法等ヲ設ケラレテ此ノ私設鐵道ノ助成ニ當ツテ居ラレルノデゴ

ザイマスガ、私ハ現在ノ儘デ補助ヲヤツテ會社ニ經營セシムルト云フコトハ、是ハ朝鮮開發上頗ル不得策デアアルマイカ、斯様ニ考ヘルノデゴザイマス、是ハ何モ私ガ會社ニ頼マレテ言フノデハゴザイマセヌ、實際ノ交通ノ實情ニ照シテ見マス、非常ニ私設鐵道ノ經營ガ私ハ惡イト考ヘルノデゴザイマス、元來朝鮮ノ人々ガ私設鐵道ヲ國有ニシテ貫ヒタイト云フ要求ヲ致シマス一番大キナ理由ハ、私設鐵道ハ運賃ガ非常ニ高イト云フコトヲ主張スルノデゴザイマス、然ラバドノ位ナ違ヒガアルノデアルカト云フコトヲ私ガ聞イテ見マスルト、旅客ノ運賃ニ於キマシテ國有鐵道ノ方ハ一軒一錢五厘ノ運賃デアアル、私設鐵道ノ方ハ一軒三錢一厘ノ運賃ヲ出サナケレバ運送シテ呉レナイ、又貨物ノ運賃ハ國鐵ノ二割ホド餘計徵收ヲシテ居ル、是ガ普通デアアル、同じ距離ヲ運送スルノニ國有鐵道デアレバ一錢五厘デ宜イガ、私設鐵道デアアルガ爲ニ三錢一厘拂ハナケレバナラス、是ガ一番困難デアアル、私ハ尤ノコトデアラウト思フノデゴザイマス、又朝鮮ノ産業ガ餘リ振ハナイト云フ原因モ、ソレハ色々ナ原因ガアリマセウガ、兎ニ角運賃ガ高イト云フコトガ一ツノ原因ニナツテ居ルノデハアルマイカ、斯様ニ私

ハ思フノデゴザイマス、又私設鐵道ト國有鐵道ト併立致シテ居リマスル結果ト致シマシテ、非常ニ連絡ノ不便ヲ來シテ居ル、是ハ最近ニ至リマシテ各所ノ連絡機關ヲ完備セラレタヤウニ思ヒマスケレドモ、マダ不十分ナ箇所ヲ多ク見受ケルノデゴザイマス、又連絡ノ設備ハ追々トオヤリニナルデアリマセウケレドモ、運輸ノ實情ヲ見テミマスルト、是亦非常ニ不完全ナヤウニ考ヘルノデゴザイマス、一例ヲ舉ゲテ見マスルト、群山方面ノ製鍊所カラ京城ニ物ヲ運送スルト云フヤウナ場合ニ於キマシテハ、當然ニ長距離遞減ノ方法ニ依ツテ運賃ガ算定セラレルノガ當然デアラウト思フノデゴザイマスガ、ソレヲヤツテ居ナイ、私設鐵道ハ私設鐵道ダケデ運賃ヲ計算シ、國有鐵道ニナツテカラ初メテソコニ長距離遞減方法ヲ以テ運賃ノ計算ガ行ハレテ居ルト云フヤウナ實情デゴザイマシテ、朝鮮ノ私設鐵道開設當初ノ趣旨カラ見マシテモ、或ハ連絡ノ點カラ見マシテモ、或ハ運賃ノ點カラ見マシテモ、ドウモ不十分デアアル、斯ウ云フコトヲ考ヘテ見マスルト、當然ニ政府ガ之ヲ買収セラレテ、サウシテ完全ナル交通ヲ圖ラナケレバナラスト思フノデゴザイマス、此ノ點ニ付テ總督府ノ方ハ數回ニ互リマシテ國有鐵道

第六類第三號 朝鮮事業公債法中改正法律案委員會會議錄 第四回 昭和十四年二月十四日

ニ買收スル積リデアルト云フコトヲ言ウテ居ラレマスルガ、漸ク今日提案ニナツタ一線ダケシカ見ルコトガ出来得ナイ、洵ニ私ハ遺憾ニ思フノデゴザイマスルガ、茲デ一ツ總督府ノ御意見ヲ伺ツテ置キタイコトハ、今回ノ補助年限中ニ必ズ私設鐵道ヲ買收スルト云フ御確信ガアルノデアルカドウカ、或ハ又今度延期セラレマシタ十年ノ期限ガ參リマスレバ、ヤハリ又延期ラスルト云フヤウナ御考デアルカ、此ノ點ヲ一ツ明瞭ニ御示シテ願ヒタイト思フノデゴザイマス

ソレトモウ一ツ承リタイノハ、現在免許セラレテ居リマスル私設鐵道以外ニハ、全部私設鐵道ナルモノヲ認メナイト云フ御方針カ否カト云フコトヲ併セテ御伺シタイノデアリマス

○大野政府委員 今御示シノ私設鐵道ノ運賃ノ可ナリ高イコト、或ハ遠距離遞減法等ノナイ關係トカ、諸種ノ不便ハ全ク御話ノ通りデアリマシテ、左様ナ趣旨カラ總督府ニ於キマシテモ、是ガ買收ヲ計畫致シテ居ル譯デ、豫テヨリ種々打合せモ計畫モ致シテ居ルノデアリマス、併シナガラ左様ナ狀況モ、實ハ朝鮮ガ今日ノヤウナ情勢ニナル以前ニ於テ中々投資ヲ致サナイ關係上、而

モ國營鐵道ハ財政上出来ナイ、仕方ナクテ非常ニ色々ナ點ニ於テ便宜ヲ與ヘテ私設鐵道ヲ敷設サセマシタ關係上、左様ナ情勢ニ相成ツテ居ルノデアリマス、併シ御話ノヤウニ非常ニ交通上一般ノ人々ガ迷惑ラスル譯デアリマスルノデ、出来得ル限り早く買收ヲ致シタイ、斯ウ云フ譯デ進ンデ參ツタニ拘ラズ、今日漸ク慶北線ノ一ツガ解決シタヤウナ譯デアリマス、吾々ハ更ニ斯様ナ考ヲ續ケテ參リマシテ、出来得ル限り買收ヲ致シタイ積リデアリマスルガ、何分斯様ナ財政ノ狀態ニ立到リマシテ、引續イテ交付公債ヲ發行スルコトガ相當困難ナ情勢ニナリマシタ爲ニ、今日マデ遅レタ譯デアリマスルガ、政府ト致シマシテモ十分其ノ點ニ付キマシテハ打合せマシテ、私共トシテハ出来ル限り買收ノ希望ヲ持ツテ居ルノデアリマスルガ、是モ財政ノ關係モアリマスルノデ、今日補助年限内ニ全部之ヲ買收スルコトガ出来ルカ、確信ヲ以テ御答申ス譯ニハ參リマセヌ、左様ナ努力ヲ致シタイト考ヘテ居リマス

○田中委員 財政上ノ關係デ補助年限中ニ買收スルコトガ出来得ナイト云フ御答辯ノヤウニ拜承致シマスガ、是ハ一ツ御考ヲ願ハナケレバナラヌコトデナカラウカト思ヒマス、私ガ言フマデモナク、政務總監モ能ク御存ジデ、毎年四百萬圓カラ五百萬圓ノ私設鐵道ノ補助ヲ通シテ今後十年間モ行クヨリハ、三分五厘ノ交付公債ヲ發行セラレテソレヲ交付セラレテヤル、是ハ明ニ政府ノ方ガ利益デアルト云フコトヲ御承知デアラウト思フ、ニモ拘ラズ公債ヲ發行スルコトガイケナイト云フコトデ、マア考ヘテ置クノデヤト云フヤウナコトデハ、私少シ手緩イデハナイカト云フヤウナ氣持ガスルノデゴザイマスガ、ドンナモノデゴザイマセウカ、勿論大藏當局トノ御交渉ガアラウト思ヒマスケレドモ、一ツウント力ヲ入レテ貰ツテ、良イコトハ此ノ際ヤツテ宜イデヤナイカ、何モ公債發行ソレ程恐ルルニ足ラナイデヤナイカト考ヘマスガ、其ノ邊ニ關スル御意見ヲモウ一遍承リタイト思フノデゴザイマス

カラ見マシテモ、イツ買收セラレルカモ分ラナイト云フ事情ノ下ニアリマスルト、會社ト云フモノハ中々横著デ仕事ヲシナイノデアリマス、詰リ此處ノ連絡工事ヲヤレト云ヒマシテモ、イヤハ早晩買收セラレルノデアルカラ、ソレマデ待ツテ下サイト云フコトデ會社ハヤラナイ、此ノヤラナイト云フコトハ、誰ガ不利益ヲ受ケルカト云ヒマス、鐵道ヲ利用スル公衆ガ受ケルノデアリマス、是ハ鐵道ヲ利用スル者カラ申シマシテモ非常ナ不利益デアラウト思ヒマス、又何時買收セラレルカ分ラスト云フコトデゴザイマスルト、企業ガ不安定デゴザイマスカラ、會社自身ガ資金ヲ調達ショウト思ヒマシテモ、中々出来マセヌ、斯ウ云フヤウナ事情ノ下ニ置イテオクコトハ、會社自身モ不利益デアレバ、鐵道ヲ利用スル者カラ致シマシテモ不利益デアルノデアリマスカラ、何トカシテ公債ヲ發行スル途ヲ開イテ、國有ニスルヤウナ御方針ヲ確立シテ戴クコトハ出来ナイモノデゴザイマセウカ、其ノ邊ノ御意見ヲ御伺シタイト思ヒマス

○大野政府委員 今ノ財政論ト申シマスガ、其ノ點ニ付テ必ズシモ私反對致ス譯デハナイノデアリマスガ、何分今日ノヤウナ公債市場ノ關係デハ、出来得ル限り公債ノ發行

ヲ抑制シヨウト云フヤウナ財政當局ノ意見
カラ、今日ノヤウナ情勢ニナツテ居ルノデ
アリマシテ、是ガ公債市場ノ情勢ニ依リマ
シテ左様ナ懸念ガナイ場合ニ於キマシテハ、
御話ノヤウナ全部ノ私鐵ヲ買収スルト云フ
コトニ付キマシテハ、何等總督府トシテ異
存ガアル譯デハゴザイマセス、併シ現狀ト
シテハ相當困難ナ情勢ニナツテ居リマスル
ノデ、出來得ル限り徐々ニ之ヲ買収シテ行
クト云フ方針ヲ立テルヨリ致シ方ガナイノ
デハナイカト考ヘテ居リマス、併シ左様
ナ點ニ努力スルコトニ付キマシテハ、總督
府トシテハ何等異存ガナイノデアリマス

○田中委員 サウ云フ御答辯ヲ承ルコトダ
ラウト思ヒマシタガ、私ハ總督府ガ朝鮮特
異ノ事情ヲ以テ財務當局ニ御話ニナレバ、
出來ルノデハナイカ知ラト云フ感ジラ持ツ
テ居ルノデゴザイマス、マア大藏省ガ言フ
カラ之ニ從ツテ置カウト云ウヤウナコトハ、
私ハ朝鮮ノ爲ニ採ラザル所デゴザイマスカ
ラ、ドウカ一ツ今後大イニ御奮闘ヲ願ヒマ
シテ、一日モ早く國鐵ニナルヤウニ御願シ
テ置キマス

モウ一ツ補助ノ點デ承リタイト思ヒマス
ルノハ、今回ノ改正案ニ於キマシテ、第一
條ニ「豫算ノ範圍内」ト云フ文字ヲ入レラレ

テ、ソレカラ五條デゴザイマシタカ、四條
デゴザイマシタカ忘レマシタガ、補助ノ最
高金額ガ是マデ五百万圓ト云フヤウニ規定
シテアツタノヲ、此ノ規定モ全部御削リニ
ナルト云フノガ改正案ノ本旨ノヤウニ思ヒ
マスガ、斯ウ致シマスルト企業者ハ補助ヲ
貰ヘルノカ貰ヘナイノカト云フコトガ、第
一私ハ不安ニ思フノデハナイカト思フノデ
アリマス、「豫算ノ範圍内」ト云フ文字ガ從
來ナカツクノデアリマスルガ、之ヲ加ヘラ
レテ、總督府ノ自由裁量デ決定セラレル、
又一箇年ニ御出シニナル補助金額ノ五百万
圓ト云フモノヲ廢止セラレマスルト、百万
圓デモ宜ケレバ二百万圓デモ宜イト云フヤ
ウナコトニナリマシテ、此ノ企業不安ノ上
ニ一層不安ヲ來スヤウニ思ハレマスガ、是
ハドウ云フ趣旨デ此ノ二點ヲ御改正ニナツ
タカト云フコトヲ承リタイノデゴザイマス

○大野政府委員 從前ノ規定ハ五百万圓ノ
限度ヲ置イテ居リマシタガ、今日ハ隨分色
色鐵道ガ出來テ參ツテ居リマスシ、寧ろ五
百万圓ト云フ最高額ヲ決メズニ、其ノ時ノ
情勢ニ應ジテ、或ハ五百万圓ヲ超エル場合
モ想像シ得ラレルノデアリマシテ、左様ナ
趣旨ニ於キマシテ五百万圓ヲ削ツタノデゴ
ザイマス、逆ニ其ノ結果「豫算ノ範圍内」ト

致シマス、豫算ガ幾ラデモ減ル場合ガア
ルノデハナイカト云フ御懸念ガアルヤウデ
アリマスガ、實ハ逆ノ方ノ意味ニ於テ其ノ
都度々々金額ヲ變ヘル度ニ御協賛ヲ受ケル
ト云フヨリモ、大體豫算ト云フ方デ御協賛
ヲ受ケテ、最高限ヲ置カズニ、其ノ時ノ實
情ニ應ジテ補助シテ行ク方ガ宜シイ、斯ウ
云フ趣旨デ改正致シマシタ譯デアリマス

○田中委員 私ハ反對的ニ解釋ヲシテ居リ
マスガ、私ノ見様モ是ハ一種ノ見様ト思ヒ
マス、是カラ大藏省ニ御交渉ニナル場合ニ
ハ、此ノ二點ヲ御削リニナルト、總督府ト
シテハ、私ハ非常ニ弱イノデハアルマイカ、
此ノ前ノ法文ナラバ五百万圓ハ當然大藏省
ガ承認セザルヲ得ヌ、所ガ是カラハ政府ノ
財政ノ關係上三百萬圓デ辛抱セイト言ハレ
タ時ニハ、法律ノ改正ノ結果三百萬圓デ承
認セナケレバナラス、先程カラ言ハレタ買
收ハシタイガ出來ナイト云フヤウナコトヲ
再ビ繰返スノデゴザイマスルカラ、改惡ノ
ヤウニモ思ハレルシ、又朝鮮總督府トシテ
ハ不利益ナヤウニモ私ハ思フノデゴザイマ
スガ、今ノ御答辯デハ、五百万圓以上ヲ支
出スル必要ガアルカラ改正スルノデアルト
云フコトデスカラ、サウ云フ御意見ト承ツ
テ置キマス、又サウ云フヤウニシテ貰ハナ

ケレバナラヌト云フコトヲ御願申シテ置キ
マス、ソコデ先程カラ段々御意見ヲ承ツテ
居ルノデゴザイマスルガ、要スル所大藏省
ガ起債ノ方ヲ喧シウ言フ、サウシテ總督府
ノ要求通りニ承諾シナイト云フコトハ、結
局私ハ、是ハ甚ダ失禮ナ言葉カモ知レマセ
スガ、朝鮮總督府ガ私設鐵道ニ對スル所ノ
根本的對策ヲ御持チニナラスカラ、大藏省
ノ言フガ儘ニナラザルヲ得ナイノデハナカ
ラウカ、斯ウ云フヤウナ感ジマスルノデゴ
ザイマス、ソレデ今回ノ改正案ハ十年ノ年
限中ニハ必ズ私設鐵道ヲ買収スルノデア
ルト云フ一ツノ御決心ヲ立テラレマシテ、ソ
シテ買収ノ年次割ト言ヒマスルカ、何年ニ
ハ此ノ線ヲ買収スルノデアルト云フヤウナ
御計畫ヲ御立テニナツテ、其ノ方針ニ向ツ
テ斷然進ンデ行クノダト云フヤウナ熱意ガ
アリマスルナラバ、私ハ大藏當局ト雖モソ
レヲ無碍ニ排撃スルコトハ出來得ナイト思
フノデゴザイマス、ココデ一ツ補助年限申
ニ買収セラレル其ノ年次計畫ナドヲ御立テ
ニナル御考ハナイノデアアルカ、或ハモウ既
ニ御立テニナツテ居ルカモ分リマセスガ、
サウデアリマスレバ其ノ御計畫ヲ御示願
ヒタイト思フノデゴザイマス

○大野政府委員 只今別ニドレカラドレラ

買收スルト云フ具體的ノ計畫ヲ立テテ居リマセヌ、マア何ト申シマシテモ、ヤハリ公債市場ノ關係ガ全般的ニ影響ノアル爲ニ、是ハドウモ朝鮮ダケノ必要ノミラ必ズシモ主張シニクイ情勢ニナツテ居リマスル爲ニ、左様ナ譯デ具體的ノ計畫ヲ立テテ居ラスノデアリマス、寧ろ逆ニ補助ノ年限ヲ延バースト云フヤウナ結果ニナツタ譯デアリマス、併シ今ノヤウニ具體的ナ計畫ヲ立テテモ、起債市場トノ關係ト云フコトヲドウシテモ考慮ニ置カナケレバナラス爲ニ、斯様ナ情勢ニナツテ來テ居ルノデアリマス、唯逐次之ヲ買收シテ行ク、其ノ實情ニ應ジテ交通ノ關係、或ハ産業ノ關係、又其ノ他ノ關係、其ノ必要々々ニ應ジテ徐々ニ買收シテ行ク、斯ウ云フ方法ヲ採ルヨリ仕方ガナイト考ヘテ居リマス

立テラレスト云フコトガ非常ニ弱イノデハアルマイカ、京釜本線ヲ複線ニスルカラ之ニ關聯スル鐵道ヲ一寸買收スルト云フ思付キ見タイノ場當リノコトデハ、私ハドウシテモ人ヲシテ納得セシムルコトガ出來得ナイト思ヒマスカラ、一ツ完全ナル買收計畫ト云フヤウナモノヲ御立テ願ヒタイト云フコトヲ切ニ御願シテ置ク次第デアリマス、其ノ次ハ道路政策ニ付テ一ツ御伺シタイノデゴザイマスガ、朝鮮ニモ段々自動車ガ發達致シマシテ、此ノ間貫ヒマシタ統計表ヲ見デミマスト、三萬軒ノ長キニ互ツテ居ルト云フコトヲ洵ニ欣ベキコトト思フノデゴザイマス、併シ朝鮮ニ參リマシテ見デミマスト、三萬軒ノ自動車運送ガ行ハレテ居リマスケレドモ、鐵道ト並行シテ免許セラレタモノハ隨分澤山アリマシテ、其ノ影響ヲ國有鐵道モ受ケテ居ル、私設鐵道モ受ケテ居ルノデゴザイマス、是ハ内地モ同ジヤウナ狀況デ甚ダ遺憾ニ堪ヘナイノデゴザイマスガ、内地ハ自動車營業ヲ免許スルモノト鐵道ヲ經營スルモノトガ別々ニナツテ居リマスカラ是ハ已ムヲ得ナイ、併シナガラ總督府ノ方ニ於キマシテハ、サウデヤナクテ自動車ヲ免許スルモノ、鐵道ヲ免許スル

モノ、是ハ一人デゴザイマスカラ、モウ少シ旨ク行キサウナモノデアルト私共ハ考ヘテ居ルノデゴザイマスガ、此ノ無駄ナ競争ヲ廢止スルト云フコトニ付テ何等カノ對策ヲ講ゼラレテ居ルノデアラウカ、ドウデアラウカト云フ點ヲ御伺シタイノデゴザイマス

○工藤政府委員 朝鮮ニ於キマシテハ御承知ノ通り、鐵道ノ普及ガ内地ト較ベテ非常ニ稀薄デアリマス爲ニ、自動車交通事業法ニ依ル自動車運送、自動車交通事業法ニ依ラナイ自動車運送ト云フモノガ鐵道ニ較ベテ割合ニ多イノデアリマス、隨テ是等ノ自動車營業路線ノ中ニ、或ハ國有鐵道ト並行シ、或ハ私設鐵道ト並行スルヤウナモノモアルノデアリマスガ、併シ總督府ト致シマシテハ、出來得ル限り自動車交通事業ノ統制ヲ圖リマシテ、大體現在ニ於テ自動車營業ヲ致シテ居リマスモノハ私設鐵道會社ガ非常ニ多イノデアリマシテ、自分ノ私設鐵道ニ並行スル區間若クハソレカラ分派スル路線ノ自動車營業ハ大體私設鐵道會社ニ於テ之ヲ經營スル、其ノ他ノ自動車交通事業ハ數多イ小サナ自動車營業者ニ分レテ居ツタノデゴザイマスガ、最近是等ガ追々資本的ニ統一サレ、或ハ經營ノ上ニ於テ一元化

サレテ參リマシテ、大キナ資本ノ下ニ大規模ノ經營ニ移リツツアリマス、複雑シ錯雜シテ居リマス自動車交通事業モ、漸次統制サレテ參ツテ居ルト思フノデアリマス、殊ニ最近ハ「ガソリン」節約ノ趣旨カラ致シマシテモ、鐵道ニ並行スル區間ノ自動車營業事業、特別ノ事情アルモノヲ除キマシテハ、「ガソリン」ノ方面カラ此ノ方面ノ營業ニ制限ヲ加ヘテ居リマス、大體鐵道若クハ軌道ト自動車事業トノ混亂狀態ハ、内地ト較ベマスナラバ餘程統制ガ取レテ居ルヤウニ私共ハ考ヘテ居ル次第デアリマシテ、今後モ尙ホ自動車交通事業ノ統制、國有鐵道、私設鐵道其ノ他ノ軌道トノ間ノ經營ニ付キマシテハ十分注意ヲ拂ヒマシテ、其ノ間無用ノ資本ノ投下ノナイヤウニ、又無用ノ競争ノナイヤウニ努力スル積リデゴザイマス

○田中委員 内地ト比較スレバ、内地ガ惡イコトハソレハ吾々モ十分認メテ居リマス、併シ朝鮮モ隨分惡イ點ガアリマシテ、此ノ「朝鮮鐵道狀況」ト云フ報告書ニモヤハリ書イテアリマスガ、是ダケ損害ヲ受ケテ居ル、是レ所謂競争ノ結果ニ外ナラスノデアリマシテ、今申サレタヤウニサウ巧ク行ツテハ居ナイト思フノデアリマス、ドウカ今後モ巧ク行クヤウニ、無駄ナ費用ヲ投ジナイヤ

ウニ、而モ鐵道營業ニ影響ヲ與ヘルコトノ
ナイヤウニ御願シテ置キマス

ソレカラモウ一ツ御伺シタイノハ、朝鮮
ノ道路ヲ見マス、鋪裝シテナイノハ已
ムヲ得ナイと思ヒマスガ、非常ニ良イ道路
ニ於テ自動車運送營業ヲヤラウト致シマシ
テモ、橋梁ガナイガ爲ニ其ノ路線ガ杜絶シ
テ居ルモノガ頗ル多イヤウニ思ヒマスガ、
之ニ關シマシテハ何等カ對策ヲ御持チデア
リマセウカ、其ノ點ヲモウ一ツ御伺シテ見
タイノデアリマス

○大野政府委員 是モ全ク御話ノ通りデア
リマシテ、今マデノ朝鮮ノ財政ノ關係デ、道
路モ非常ニ粗末ハ道路デアリ、御話ノヤウ
ニ鋪裝モ不完全デアル、ソレカラ橋梁ガ御
話ノヤウニ架ケベキ所ニ架ツテ居ラスノデ
アリマス、實ハ幹線道路ニ於テモ左様ナ事
實ガアルノデアリマシテ、大體幹線ヲ主ニ
シテ順次之ヲ架ケテ行クト云フヤリ方ヨリ
致シ方ガナイと思ツテ居リマス、其ノ點ハ
全ク御示シノ通りデアリマス

○田中委員 御計畫ハナイノデアリマスカ
○大野政府委員 計畫ハ逐次ヤツテ居リマ
ス

○田中委員 モウ一ツ港灣ノ問題ニ付テ御
伺シテ見タイと思ヒマス、滿洲支那カラ日

本ニ物資ヲ持ツテ來ナケレバナラズ、又日
本カラ製品ヲ滿洲、支那等ニ送ラナケレバ
ナラス、是ガ爲ニハドウシテモ港灣ノ必要
デアルコトハ私ガ申上ゲルマデモアリマセ
ヌ、唯一ツノ私ノ不思議ニ堪ヘナイノハ、
清津ト羅津ノ港灣ガ目ト鼻ノ間ニアリマシ
テ、各、競争ヲシテ港灣ヲ築造シテ居ルヤ
ウナ感じガアルノデアリマス、兩港ノ距離ハ
四十哩位デアリマシテ、全ク近距離ニアルノ
デアリマス、港灣ヲ築造スルコトハ結構デ
ゴザイマスガ、何モ兩者ガ近イ所デ競争シテ
ヤル必要ハナイ、斯様ニ感じテ居ルノデゴ
ザイマス、殊ニ清津ハ總督府デ非常ニ大事
ニセラレテ居ル港灣ト聞イテ居ル、又羅津
ハ滿鐵ガ經營致シマシテ、是又滿洲ト日本
トノ連絡ハ羅津デナケレバ出來ナイと言ッ
テ居リマス、總督府ト滿鐵ガ競争サレテ、
兩方ニ港灣ヲ築造セラレテ居ルコトハ、國
家のニ見テ非常ナ不利益デアアルマイカト
思フノデゴザイマス、而モ行ツテ見マス、
總督府ガ我子ノ如ク非常ニ大事ニセラレテ
居ル清津ハ、羅津ヨリハ港灣ガ惡イデアラ
ウ、斯様ニ私ハ思フノデゴザイマス、其ノ
惡イ港灣ヲ非常ニ大事ニセラレテ、滿鐵經
營ニ屬シテ居ル羅津ヲ繼子扱トハ申シマセ
ヌガ、兎ニ角特殊扱ニセラレテ居ルコトハ、

國家ノ見地カラ見テ非常ニ不利益ト存ズル
ノデゴザイマス、總督府ガ清津ヲ非常ニ重
要ナモノノ如ク思ハレテ、羅津ヲ閉却セラ
レルノハ一體ドウ云フ譯カ吾々ニハ分リマ
セヌガ、此ノ兩港ヲ今後ドウ云フヤウニシ
テ行クベキモノデアルカ、或ハ清津ヲ廢止
シテ羅津ノミニカヲ入レテ行ク方ガ利益デ
アラウト私ハ思ヒマスガ、之ニ關スル當局
ノ御意見ヲ御伺シタト思ヒマス

○大野政府委員 北朝鮮ノ三港、其ノ中ノ羅
津及ビ清津ニ付テノ御質疑デアリマスガ、
吾々ハ羅津港ハ大體ニ於テ滿洲國ノ物資ノ
吞吐港ト考ヘテ居リマス、又清津ノ開發當
時ニ於テハ餘程サウ云フ色調ガ濃クアリマ
シテ、隨テ委任鐵道ノ關係ニ付テモ滿鐵ガ
現ニ經營ヲ致シテ居ルヤウナ譯デアリマス
ガ、其ノ後ノ朝鮮、殊ニ北朝鮮ノ工業ノ發達
ノ情勢カラ致シマス、清津ヲ背後地帯ニ
スル朝鮮内ノ産業ハ非常ニ勃興シテ參ツタ
ノデアリマス、就中今日生産力擴充ノ趣旨
カラ致シマシテ、茂山ノ開發、鐵礦ニシテ
三百萬噸近イモノガ是カラ廻サレル譯デア
リマシテ、斯様ナ趣旨カラ申シテモ清津ハ
非常ニ重大ナ意義ヲ持ツテ來ル譯デアリマ
ス、其ノ趣旨ヲ以チマシテ、過般アレハ六
百五十萬圓デ既ニ議會ノ協賛ヲ經テ居ル譯

デアリマスガ、只今ノ港ノズツト西ノ方ニ
新ナ港ガ出來ル譯デアリマス、是ハ掘鑿致
シマシテ、約三百萬噸ノ「キヤバシチー」ノ
港ガ出來ル譯デアリマスガ、私ハ羅津ノ港
ノ職能ト、清津ノ港ノ職能トハ、餘程變ッ
テ來テ居ルト思ヒマス、羅津港ハ全ク御話
ノヤウニ非常ニ良港デモアリ、滿鐵ガ經營
致シテ居リマスガ、今日佳木斯、虎林、或ハ
北ノ方ノ牡丹江、アチラノ方ノ産業ガ發達
致シマス、現在ノ「キヤバシチー」ヲモツ
ト増サナケレバナラヌ狀況ニナルノデハナ
イカ、左様ナ將來性ヲ考ヘマシテ、寧ロサ
ウ云フ意味ニ於テ羅津港ヲ經營スベキデア
リ、清津ハ只今申上ゲタヤウナ趣旨デ總督
府ガヤツテ行ク、斯様ナ趣旨デアリマシテ、
其ノ間寧ロ競争ト云フヨリ、別ナ職能ニ向
ツテ此ノ兩港ガ更ニ經營サレテ行カナ
ケレバナラス、斯様ニ考ヘテ居リマス

○田中委員 私ハサウハ見ナイノデアリマ
ス、成程サウ仰シヤイマスガ、朝鮮ノ後方
地帯ノ開發上清津ガ必要デアル、是ハ後カ
ラ附加ヘラレタ理由デアラウト思ハレル、
是ハヤハリ初メハ滿洲トノ連絡ヲ御計畫ニ
ナツテ、清津ヲオヤリニナツテ居タノデア
ツテ、其ノ後滿鐵ガ清津ヨリハ羅津ガ良イ
ノデアルト云フヤウナコトヲ言ツテ來テ、

茲ニ又一ツノ新築港ヲヤツタト云フノガ私

ハ實情デアラウト思フ、斯様ナコトハ既ニ

築港セラレマシタカラ如何ニ言ツテ見マシ

デモ仕方ガナイ、斯ウ云フコトハ私ハ總督

府ニ港灣ノ御方針ガアツタナラバ、必ズヤ

羅津ニ築港セズシテ清津ノ築港ヲ改良セヨ

ト云フヤウナ意見ヲ御出シニナツテ、ソコ

デーツノ港灣ニ全力ヲ注イデ益、發達セシム

ルト云フノガ是ハ當然デアツタラウト思ヒ

マス、今ハ是ハ仕方ガゴザイマセヌガ、今

後大イニ旨ク行クヤウニ御願スルノデゴザ

イマスガ、之ト同ジヤウナ問題ガ又最近ニ

起ツテ居ルト云フコトヲ承ツテ居リマス、

ソレハ朝鮮總督府ハ多獅島ト云フ島ニ港灣

ヲ築造セラレ、滿洲ハ安東ノ港ヲ築造スル

ト言ツテ兩者オ互ニ今競争セラレテ居ルト

云フコトヲ承ルノデゴザイマスガ、是ハ一

體ドウ云フ風ナコトニ御取扱ニナツテ居ル

カ、或ハ先程申シマシタ羅津ト清津トヨリ

ハモツト近い距離ニ在ルト思ヒマスガ、此

ノ問題ヲドウ云フヤウニ御解決ニナルデア

ルカト云フ點ヲ御伺シタイト思ヒマス

○大野政府委員 多獅島ト安東ノ關係デス

ガ、安東モ大東溝ト云フ所ニ一寸シタ港ヲ

造ルト云フコトニナツテ居ルノデゴザイマ

ス、是ハ御承知ノヤウニ只今義州ノ少シ奥

ノ所デ約六十五萬「キロ」バカリノ發電計畫

ヲ致シテ、ソレノ實行致シテ居リマスガ、

是ガ出來マス、電力ヲ約半々ニ致シマシ

テ、滿洲ト朝鮮デ其ノ電力ヲ使フ、左様ニ

致シマス、安東ニ於キマシテモ可ナリノ

工場ガ出來ル譯デアリマス、勿論義州側ニ

於キマシテモ出來ル譯デアリマスガ、之ニ

必要ナル或ル程度ノ港ガ安東ニ於テモ必要

デアルト云フ見地カラソレノ計畫ヲ致シ

テ居ルヤウデアリマス、是ハ滿洲國トシテ

ソレノ專門家ガ計畫致シテ居ルヤウデア

リマス、吾々ト致シマシテハ既ニ多獅島ニ

付デアレダケノ計畫ヲ立テテ居リマスノ

デ、是ガオ互ニ資本ノ二重投下ミタイナ情

果ニナリ、或ハ又無用ノ競争ラスルト云フ

ヤウナコトハ努メテ避クベキデアルト考ヘ

マシテ、是ハ既ニ新京ニ於テモ關係者ノ會

議ヲ致シマシタ、又過般京城ニ於キマシテ

モ滿洲國ヨリ來テ戴イテ會議ヲ致シマシ

テ、相互ニ成ベク無駄ノナイヤウニ致シタ

イ、安東ノ方ハ極メテ輕イ意味ノ港ノヤウ

ニ私共ハ聞イテ居リマス、併シ是モ中々調

査ナリ準備ナリガ要リマスノデ、直グニ實

行スル譯デモナイヤウデアリマスガ、十分

ノ連絡ヲ取り、相互ニ競争スルトカ、或ハ

張合フト云フヤウナコトノナイヤウニシタ

イト思ツテ居リマス

○田中委員 私ガ承ツテ居リマス所ニ依ル

ト、滿洲ハドウシマシテモ、安東ニ築港シテ

朝鮮ノ多獅島ノ御世話ニナラスト云フコト

ヲ強調シテ居ルヤウニ承ツテ居リマス、若

シソレナラバ近クデゴザイマスカラ、朝鮮

ノ多獅島ノ方ヲ止メニナツテ安東ノ方ニ

行クノモ一ツノ方法ダラウト思ヒマスガ、

兎ニ角植民地方面ニ競争的ニ澤山ノ港灣ヲ

拵ヘルト云フコトハ非常ニ私ハ不經濟ナ無

用ノコトデアラウト思ヒマスガ、一ツ此ノ

多獅島ト安東トノ關係モ無駄ニナラスヤウ

ニ、羅津、清津ノ轍ヲ履マナイヤウニ御願

ヲ致シマシテ、私ノ質問ハ一先ヅ打切りマ

ス

○栗山委員 關聯シテ簡單ニ御質問致シタ

イト思ヒマス——非常ニ有益ナ質問ヲ承ツ

テ居リマシタガ、清津港ノ築港ニ對シテ何

カ擴張ノ御計畫ガアリマスカ

○大野政府委員 只今ノ清津ノ問題ハ、實

ハ茂山ノ開發ト云フ問題ハ最近ニ起ツタ問

題デアリマス、御承知ノヤウニ彼處ニ十億

噸バカリノ埋藏量ノ鐵ガアリマスガ、之ヲ

ドウ云フヤウニ開發シテ行クカト云フコト

ニ付テハ、實ハ清津港ノ出來タ時分ニハ何

等問題ニ上ツテ居ラナカッタノデアリマス、

其ノ後段々開發計畫ニ付キマシテ具體的ノ

案ガ立チマシテ、今日ニ於テハ日本製鐵

ト、又一部分ヲ三菱ノ製鐵所ガヤルコトニ

ナリマシテ、ソレニ伴ツテ港ノ經營ガ必要

ニナツテ參リマシタ、ソコデ大體ノ計畫ト

致シマシテハ總督府側ニ於テ既ニ御協賛ヲ

仰イダ所ノ突堤ヲ——彼處ニ輪城川ト申ス

川ガアリマスガ、其ノ先ニ延バシマシテ、

其ノ中ヲ日本製鐵ニ於テ港ヲ掘ツテヤツテ

居ル、斯ウ云フコトニナツテ居リマス、從

前ノ港ハ從前ノ港ノ通りニナツテ居ル譯デ

アリマス

○栗山委員 凡ソ何万噸位ノ收容ガ出來ル

デセウカ、私ハ先般觀察致シマシタ時ニ、

既ニ清津港ノ築港ガ狹隘ヲ感ジテ居ルヤウ

ニ見受ケテ參ツタノデアリマス、現在デモ

貨物ノ輸出入ニ甚ダ狹隘ヲ感ズルヤウニ見

テ參ツタノデアリマスガ、之ニ付テ御伺致

シマス

○大野政府委員 約三百万噸バカリノ港デ

アリマス、併シ是ハ大體今御話シタヤウニ

鐵ヲ中心ニシタモノデアリマス

○栗山委員 私ハ朝鮮ガ全面的ニ劃期的ノ

飛躍ヲ見テ居リマス、日本ノ現状カラ眺メ

マシテ、朝鮮ノ交通ノ運輸、港灣ノ關係ガ

極メテ重大ナルコトヲ痛感スル者デアリマ

ス、議會ハ資源ノ開發、生産擴充ト云フ問題ニ蔽ハレテ居ルヤウナ有様デ、眞ニ日本ノ現下内外ノ重要問題ヲ解決スルト云フコトハ資源ノ開發、資材ノ充實、生産加工、消費、是等ニ向ツテ相當前途ヲ見透シタル大キナル線ヲ引イテ、集合的ニ、劃期的ノ計畫ヲ完成シナケレバナラスト私ハ斯様ニ感じテ居ルノデアリマス、今至ル所ヲ旅行ヲ致シマシテ見ラレルノハ、即チ輸送關係、交通關係、是ガ非常ニ理想的デハナイ、目下ノ情勢ヲ裁ク上ニ於テ非常ナ支障ヲ來シテ居ル、是ハ一ツノ例デゴザイマスガ、大連港ノ如キ設備ヲ持ツタ所ニ於テモ、塘沽ノ沖合ニ於テモ船ガ一箇月モ半箇月モ船待ヲスルト云フ情勢ハ何デアルカ、實ニ不經濟ナ行詰リヲ來シテ居ル、是デ物價ガ安クナラウ筈ハナシ、是デ長期建設ナドト云フコトハ實際思ヒモ寄ラヌコトデアル、先ヅ何ト云ツテモ今後ハ此ノ交通運輸ノ調整ヲシナケレバナラスト、寧ロ大キナル線ヲ引イタ所ヲ睨ンデ其ノ吞吐ガ圓滑ニ流レテ又輸入モ出來ルヤウニ圖ルコトガ第一ノ急務ナ事柄デヤナイカト私ハ思フ、此ノ時ニ當ツテ今議題ニナツテ居リマス朝鮮ノ鐵道計畫ト云フモノハ、單線ヲ複線ニ改造シテサウシテ大陸トノ連絡ヲ圓滑ニスルト云フコトハ

洵ニ是ハ機宜ヲ得タル案デアリマス、併シ是ノミヲ以テハ現在ノ此ノ情勢カラ眺メテ行詰リヲ來スコトハ明瞭ナル事實ナノデアリマス、然ラバ何ニ依ルカト言ヘバ朝鮮ガ裏日本、表日本ニ存在スル港灣ヲ充分利用スルコトニ於テ、初メテ私ハ此ノ支障ヲ全面的ニ解消シ得ルモノデハナイカト思フ、ソレデ北鮮三港ノ如キハ幸ニ規模ハ小サイナガラモ、天然ニ港灣ヲ成シテ居ル形トナツテ居ル、而モ色々ナ意味ニ於テ此ノ重要ナ日本海ヲ隔テテ日本ハ是カラ開發セラレナケレバナラスト裏日本ノ資源ヲ埋藏シテ居ル、寧ロ死藏シテ居ル觀ガアル、之ヲ今日ノ進歩シタル科學ニ依ツテ開發ヲシ、進歩シタル科學ノ技術ニ依ツテ加工ヲスルト云フコトハ、内地バカリデハナク、日本海ヲ越エタ此ノ三港ヲ煩シテ滿洲ノ經營トナリ、北支ノ建設經營ニ資スルベク重大ナル期待ヲ持ツテ居ルノデアリマス、サウ云フ觀點カラ考ヘマースルト、私モ大正十五年ニハ大村サンガ鐵道局ニ居ツタ時代ニ、朝鮮ノ一千万圓ノ鐵道經營ノ公債ニ付テ聊カ微力ヲ傾ケタ一人デゴザイマスルガ、其ノ當時カラスルト今日ハモウ雲泥ノ違デアル、此ノ二三年ノ間ニ於テ非常ナ違デアル、資金ガナイカラ色々ノ事情デ羅津ヲ滿鐵ノ經營ニ任

セタ、是モ結構デアル、今ヤ私設鐵道ヘモ融資シテ居ルヤウナ狀態デアルカラ、大キナ資本ヲ投ズルモノガアレバ結構デアツテ、ソレニ依ツテ今日三百万噸計畫モ出來上リツツアルコトモ私ハ極メテ結構ナコトダト思フ、又清津港モ現在ニ於テ狹隘ヲ極メテ居ル、彼處ニ紡績工場モ出來、鐵工場モ出來、其ノ他木材ノ資源開發、造林等ニ依ツテ益々北鮮ノ物資ト云フモノハ輻湊ヲ極メテ居ル、ソレ故ニモウ今行詰ツテ居ルノダカラ更ニ明年ハ非常ニ行詰ルト云フコトハ是ハ火ヲ賭ルヨリモ明ナコトデアリマス、ソレ故ニ私ハ滿鐵ニ委囑シタル羅津港ノ繁榮、之ヲ十分ニ利用スルコトヲ希望致シマス、又清津港モ大イニ力ヲ注イデ將來ノ見透シノ上ニ十分遺憾ノナイ施設ヲ以テ、此ノ時勢ニ對應セラルルヤウニ當局ガ御奮發ヲ願ヒタイ、又雄基港ニ對シテモ私ハ此ノ希望ヲ繫グノデアリマスカラ、ドウカ大局カラ打算セラレマシテ、今日日本ガ飛躍セント致シマシテ各方面ニ鵬翼ヲ伸バシテ居リマスル此ノ情勢ニ、萬遺憾ノナイ所ノ施設經營ヲサレンコトヲ私ハ希望致シマス、ドウカ十分ナル成算ノ下ニ豫算ノ計畫ヲ立テラレンコトヲ私ハ希望スル次第デアリマス、

先ヅ道路ノコトデアリマス、先程橋ガナクテドウカト斯ウ云フコトデアリマシタ、殆ド橋ガ眞ン中ニアルダケデ、兩方ガマルデ無クナツテ居ルト云フヤウナ工合ニ、アノ橋ガ何ノ爲ニアルノダカ、置イデケボリノ橋ガ幾ラモアル、是ハ豆滿江ノ沿岸ニ於ケル工事上ニ何等カ特別ナ考慮ヲスル必要ガアルノデハナイカ、折角拵ヘタヤツガ皆イケンナツテシマツタ、此ノ間張鼓峯ノ事件ガアツタ——餘リ突込ンダ所マデ申上ゲルト憚リマスカラ申上ゲマセヌガ、アンナコトデ能クヤツタト言フヨリホカアルマイ、唯アンナコトデ能クヤツタトシカ、現實ヲ親シク知ツテ居ル私カラハ、是ダケシカ言ヘナイ、アンナ道路及橋梁デ宜イカドウカ、洵ニ寒心ニ堪ヘナイノデアリマス、今田中君ノ申上ゲタ橋ノ事ト、道路ソレ自體ニ付テ、モット國境方面ニハ御關心ヲ戴カナケレバ——急速ニ御關心ヲ戴カナケレバイケナイノデヤナイカト、斯ウ私ハ痛感致シマス、モウ一ツハ、朝鮮ハ餘程私ハ大藏省デ、イデメラレテ居ルノデハナイカト思フ、大藏省ハ朝鮮ノ實情ヲ知ラナイノデハナイカト思フ、ドウモ大藏省ノ人ガ此處ニ居ラレマセヌガ——實際大藏省ガ本當ニ分ツテ居ラレバ、アンナコトヲヤツテ置イデ宜イ

○松岡委員 一寸關聯シテ御尋致シマス、

カドウカ、一ツモ金ヲ掛ケナイデ道ヲ造ラウト云フ主義バカリ執ツテ居ル、國費ヲ使ハナイデ道ヲ造ツテ行カウト云フコトハ、

若シ内地ダツタナラバ非常ナ問題デ、トンデモナイコトデス、或ハ一揆ガ起リハセヌカトサヘ思ハレル、親シク其ノ現地ヲ見テ、

實情ヲ知ツテ居ル者カラ言フタナラバ、是ハ朴春琴君デナクテモ本當ニ考ヘザルヲ得ヌコトデアル、餘リニ繼子扱デアル、マル

デ金ヲ掛ケナイデ道ヲ造ツテ行カウト云フ趣旨ガ間違ナンデス、朝鮮ニ發言者ガナイ爲ニ、而シテアナタ方ガ大藏省ニ來テモ、

内地ノ方デ餘リ難カシイコトヲ言フモノダカラ、其ノ方ヲ先ニシテコツチノ方ハ閑却サレルト云フヤウナコトヲ見テ居ツテハ、

是ハ捨テテハ置ケナイ、餘程深刻ニ御考ヲ願ハンケレバナラヌ問題ハ今ノ道路問題ダト思フ、其ノ爲ニ物資運搬其ノ他萬般上ニ

不便ヲ感ジテ居ルコトハ、容易ナラヌモノガアル、是ハ幸ニ私設鐵道ガ買収セラレルヤウナ工合ニナツテ居ル際ニ、道路ノ方面

ニ國費ヲ投ジテ、アシナ何ト言ヒマスカ、忙ガシイ最中ニ、マルデ賦役ヲ取ツテ、サ

ウシテソレデ道ヲ拵ヘテ通ラシテ居ル、是ガ國道デ候ナンデトモナイ話デス、實際ニ情ナイト云フヤウニ懇ヘタイト思フ、

此ノ點ニ付テ先ヅ如何ナル御考デ居ラツシヤイマスカ

○大野政府委員 今ノ橋梁ダケ殘ツテ道ガ非常ニ惡イト云フ御話ハ、是モヤハリ色々治水ノ關係ヤラ、其ノ他ノ關係ガアリマシ

テ、左様ナ情勢ニナツテ居ルノデセウ、又私共各地ヲ歩キマシテサウ云フ情勢ヲ見テ

居リマス、隨テ河床ヲ自動車ナドガ交通シテ居ルヤウナ現況デアリマス、是亦實際ニ

當ツテ見マス、折角又橋ヲ架ケ、或ハ道路ヲ拵ヘテモ、直グニ水ガ出ルト壞ハシテ

シマフト云フヤウナ關係上、其ノ一應治マル所ヲ見テ架ケルト云フヤウナ關係上、サ

ウ云フ風ニ其ノ儘捨テアル所モアリマス、併シ何ヲ申シテモ全般的ニ道路ガ完全デナ

イト云フコトハ是ハドウモ事實デアリマス、隨テ是等ノ情勢ニ付キマシテハ、或ハ道ナ

リ、或ハ總督府ナリ連絡ヲ致シマシテ、此ノ改造、改修ヲシナケレバナラヌト考ヘテ

居リマス、ソレカラ今ノ人心ニ及ボス影響ト云フヤウナ點カラノ御議論デアリマシテ、

モ今日ノ情勢デハ其ノ點ハ餘程氣ヲ付ケナケレバナラスノデアリマスガ、寧ロ賦役ト

云フヨリモ、何ト云ヒマスカ、勞働奉仕ト云フ考ガ可ナリ所ニ依リマシテハ——是ハ

御引例ニナツタ所ガサウデアルトハ申シマセヌガ、隨分南ノ方ノ進シダ所デハ喜ンデ

ヤルト云フヤウナ所モアリマス、又サウ云フ風ニ成ベク民衆ヲ、何ト申シマスカ、勞

働奉仕ト云フヤウナ名目ノ下ニ行ハセテ居リマスト却テ能率ガ擧ガル、今マデノ賦役

ト云フヤウナコトデヤリマスルヨリ非常ニ宜シイヤウデアリマス、併シ鬼ニ角何レノ

形式ニ致シマシテモ、無理ニ民衆ヲ押ヘツケテヤラセルト云フヤウナ感シヲ持タセル

コトハ、是ハ餘程憤マナケレバナラヌノデアリマシテ、支出スベキ費用ニ付テハソレ

ゾレ豫算ヲ組ンデ出シマス、サウシテ賃銀モ支拂フ、斯ウ云フヤウナヤリ方ヲ努メテ

執ツテ居ル譯デアリマス

ハ申サナイケレドモ、餘リニ大藏省ガ國內ニバカリ、文句ヲ言ハレルカラシテ其ノ方

ヲ片付ケテ、外政ノ方面ハ閑却シテ居ル傾ガ甚ダ多イデヤナイカト云フ、寧ロ私ハ

御同情ニ堪ヘナイノデアリマス、元ヲ置イテソレニ賦役ヲシテヤルト云フノナラソレ

ハ又喜ンデ行クシ、又賦役ヲサセルコトガ宜イ、元ヲ出サナイデ賦役バカリデ行カウ

ト云フコトガ餘リニヨク見エルモノデスカラ、是デハ人心ニ及ボス影響ガ餘リ内鮮ヲ

一體ニシタ政治デヤナイト云フ結論ニナリハシナイカト思ヒマスノデ申上ゲタ次第デアリマス

ソレカラ滿鐵ノ方ニ委任ヲシテ居ル結果トシテ、北鮮方面ハ何トナク滿鐵自體ガ

先程田中君ガ羅津ノ重要ナルコトヲ縷々御述ベニナツテ居ラレマシタガ、私モ同感デアリマス、是ハ滿鐵ソレ自體ガ本當ニアチ

ラノ方面ニ力ヲ注ガウト云フ心ニマダナツテ居ラナイノデハナイカ、大連方面ヲ主ト

シ、アチラノ方面ニノミ行カウト云フノデ、今日ノ如ク北滿方面、殊ニ東滿方面、牡丹江、佳木斯、及ビ綏芬河、アチラノ方ノ發展及ビ重要性ヲ考ヘタナラバ、モツト滿鐵

ニ力ヲ注ガセルヤウニ威力ヲ出シテ戴キタイト私ハ思フ、決シテ朝鮮總督府ガ清津ヲ

重シテ羅津ヲ重シナイト云フヤウナコトハ勿論アリヨウ筈ハナイノデアリマスガ、何トナク餘所ノヤウナ氣持ヲサセテハイケナイ、ソレニハ滿鐵ニウント威力ヲ用ヒテナゼヤラサスカ、モウ少シ彼處ノ開發ノ上ニ、鐵道ヲ數イデモ宜イヤウナ所ガアラウト思フ、殊ニ琿春トノ連絡ヲドウ云フ風ニスルカ、東興鎮ニ行ク方ノ琿春河ヲ上ル鐵道ガ今度新シク出來ル、アレト連絡ヲドウシトラ宜イカト云フヤウナ問題ハ當然起ラナケレバナラヌ問題ダラウト思フ、斯ウ云フ方面ガ全部朝鮮總督府ノ手ヲ離レ、全ク北方「ソビエト」ニ對抗スルアノ部面ヲ滿鐵ノミニ預ケタカノ如キ形ニナツテ、ドウモ少シ滿鐵ノ方デモ餘所行キノヤウデアル、朝鮮總督府ノ方デモソナヤウナ工合デ、ツツカケ持チノヤウナ感ガアリハセスカト云フコトヲ非常ニ心配スルノデスガ、清津ノ問題ニ付テハ、先程政務總監ノ御答辯全ク御尤デアルバカリデナク、マダ「力」ノ注ギ方ガ遅イ、茂山ノ鐵礦ノ如キハモット開發シテ、資源開發ノ上カラ、アノ豐富ナ鐵山ノ開發ニ付テモット「ヤラナケレバナラス、殊ニ清津ノ間ノ如キ、鐵道及ビ沿岸ノ鐵工場ノ設備ニ付テノ如キハ、モット催促シテ、此ノ際デスカラ本當ニ早クヤラナケレバイケ

ナイノデヤナイカ、ドウモ緩慢ナヤウニ私ハ思フノデアリマス、羅津及ビ清津ニ付テノ私ノ質問ニ對スル御答辯一寸伺ヒタイ

○大野政府委員 今ノ御話ノヤウニ、滿鐵ニアノ鐵道ノ經營ヲ委任シタ當時ト大分情勢ガ變ツテ參リマシテ、當時豫想セザル色々ナ產業ガ起ツテ來テ、豫想セザル色々ナ情勢ガ起ツテ參リマシマスノデ、是等ノ情勢ニ對應スルヤウニ、當局トシテモ關係ノ官廳トモ色々相談ヲ致シテ居リマス、唯滿鐵ガ大連ヲ中心ニシテ居ル爲ニ羅津ノ方ニ對スル施設ヲ閑却シテ居ルノデハナイカト云フヤウナ御話デアリマシタガ、是ハ私ハサウ云フコトハナイト思ツテ居リマス、既ニ御承知ノヤウニ、大連ノ貨物ハモウ今日ノ吞吐能力ヲ超エテ居ルヤウナ譯デアリマシテ、寧ロ今日デハ、例ヘバ大豆ノ積出ニ付キマシテモ「オブション」ノヤリ方デ外國船ナドガ寧ロ羅津ニ入ツテ來ル、滿鐵ノ方モ寧ロソレヲ希望シテ居ルヤウナ情勢デアリマシテ、又賃銀ノ定メ方ニ付キマシテモ、大連ハ勿論デアアルガ、羅津ヲヤハリ頭ニ入レテ滿鐵トシテハ經營シテ參ツテ居ルヤウデアリマス、唯御話ノヤウニ、何トナシニ、其ノ情勢ガ變ツテ來テ、マアオ互ニ遠慮シテ居ル、滿鐵ノ方デモ控ヘテ居ル

シ、コチヲノ方デモ控ヘテ居ルト云フヤウナコトガ全然ナイデモアリマセヌガ、例ヘバ羅津ノ經營等ニ付キマシテモ、「ホテル」デアルトカ、病院デアルトカ、或ハ油房ノ設備デアルトカ云フヤウナコトニ付キマシテモ、能ク相談ヲ致シマシテ、相當ナ費用ヲ取ツテ呉レマシテ、其ノ一部ハ既ニヤツテ居ルヤウナ譯デアリマス、是等ハ段々能ク連絡ヲ致シマスレバ十分差支ノナイヤウニ出來ルコトト考ヘテ居リマス、唯根本的ニ、アノ委任鐵道ノ現狀ニ鑑ミテ、今日ノ產業ノ情勢カラドウ云フ風ニスルカト云フヤウナコトハ、是ハ根本的ニ各方面ト相談シナケレバナラスト考ヘテ居リマス

○然岡委員 大體諒承ヲ致シマシタガ、朝鮮ノ方ハ先程御話ノヤウニ中々能ク各方面ニ統制ハ取レテ居リマス、モウ少シ統制ノ取レテ居ルアノ力ヲ朝鮮鐵道ニ及ボストカ、或ハ其ノ他電氣會社ニ及ボストカ、モウ少シ力ヲ用ヒテ戴イテ、アレダケマデノ特別ナ權利ヲ與ヘテ仕事ヲヤラシテ居ルノデスカラ、モウ少シ地方民ノ利益ヲ圖ル爲ニ忍ベル所マデ忍シテ戴クヤウニ行カナケレバナルマイガ、先ヅ電氣ニシテモ其ノ通り、一ツノ工場ガアル、サウスルト其ノ工場ダケニ電氣ヲヤツテ居ル、實際文明ノ利

器ヲ其ノ同ジ部落、町内ニ於ケル工場ダケニ點ケサセテ、外ノモノニハ少シモ電氣ヲヤラシテ居ラナイ、御存ジデゴザイマセウ、會社ニアレダケノ特別ノ權利ヲ與ヘテヤラセテ置イテ之ヲ人民ニ及ボサセナイト云フヤウナコトハ、工場ノ爲ノ電力カモ知レスケレドモ、其ノ序ヲ以テ地方民ノ文化ニ貢獻セシメルヤウニシ「ラデオ」デモ何デモ引カセテ行カセルヤウニスルコトガ新附ノ民ヲ更ニ喜バシムル所以デヤナイカト思フ、ソコマデ行ツテ居ラス、現ニホンノ僅カノ内地ダツタラ問題ノナイヤウナ所ヲヤラセテ居ラナイ、是ハ餘程監督ヲ嚴ニシテ、少シ位無理ヲモサセテ戴クヤウニシテ、アノ新附ノ民ヲ喜バシムルヤウニスルコトコソ本當ニ總督ノ善政デヤナイカト思フ、是ガ行届イテ居ラナイ、是ハ間違ヒデアルト私ハ思フ、此ノ事ヲ單ニ電氣ニ付テバカリ言フノデハアリマセヌ、電氣ニシテモ、鐵道ニシテモ自動車ニシテモ其ノ通りデス、就中電氣ニ於テ然リ、豐富ナ電力ガ今度出ルノデスカラ、是等ヲ普ク使ハセテ、サウシテ石油ナドノ危ナイコトノナイヤウニ、殊ニ油ノ必要ナ時代ニ於テハサウダラウト思ヒマス、之ヲ會社ニ強要シテ戴クヤウニ私ハ御願ト云フヨリモ、ナサイマス考ガアル

カドウカ

○大野政府委員 具體的ノ事實ハ能ク私存ジマセヌガ、併シサウ云フヤウナ情勢ノ場合ニハ能ク取調べマシテ、ソレダケノ餘力ノナイコトモナイヤウニ思ハレマスガ、出來得ル限リ御話ノヤウニ公共ノ利益ニナルヤウニ致シタイト考ヘマス

○松岡委員 今ノ御話必ズ其ノ結果ハ直グニ現ハレルコトト私ハ信ジマスカラ、喜ンデ答辯ヲ承リマス

最後ニ通信事業デゴザイマス、是モ鐵道及ビ道路ト共ニ餘程考ヘテ行カナケレバナラス、皆大藏省ニ關係ガアル、大藏省ハ朝鮮ヲ本當ニ理解シテ居ラナイ、モウ少シ大藏省ガ朝鮮ト云フモノヲ考ヘテ吳レタナラバ、アンナコトニシテ置カレル筈ハナイト思フ、是ハ私ハ餘リ臺灣ヲ知ラナイカラ、朝鮮バカリ知ツテルヤウデスケレドモ、東滿方面ノ重要性ト伴ツテ朝鮮ハ特ニ關心ヲ持タナケレバナラス所デアリマスカラ、十分ニ力ヲ用ヒテ通信方面モ完備シテ戴ケルヤウニ私ハ御願致シマス、是等ヲ以テ私ノ關聯質問ヲ終リマス

○水田政府委員 先程松岡サンカラ朝鮮ノ施設ニ付テ、道路ヲ例ニ御取リニナリマシテ、大藏省ノ方カラ十分朝鮮ノ實情ニ付テ

昭和十四年二月十五日印刷

昭和十四年二月十四日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局

認識シテ戴キタイト云フコトノ激勵的ノ御質問ヲ戴キマシテ、豫算ニ直接關係致シテ居リマスル自分ト致シマシテモ、責任上將來トモ十分ニ朝鮮ノ實情ニ付キマシテ大藏當局ノ理解ヲ得ルヤウニ努力致シタイト考ヘテ居ル次第デアリマス、吾々ガ申上ゲルヨリモ松岡サンナドノ實際ノ事情ヲ十分ニ御承知ノ方カラ御話ヲ願フト、關係ノ方々モ全ク尤ノコトダト御諒承戴ケルコトカト存ズルノデアリマス、唯ソレニ付キマシテ此ノ朝鮮ノ方面ニ付テノ問題デアリマスカラ、一言御答ヘ申上ゲサセテ戴キタイト思ヒマス

道路ノ問題デアリマスガ、從來ヤハリ北鮮方面ニ付キマシテハ道路網ニ付キマシテ餘リ意ガ用ヒラレテ居ラナカッタト云フノハ事實デアリマスガ、最近ノ實情ニ鑑ミマシテ、主トシテ咸鏡北道ニ所謂國防道路ナル名ニ於テ今日マデ凡ソ二百七十万圓程ノ計數ヲ上ゲテ改修ニ努力致シテ居リマス、更ニ先程御示シノ最近ノ情況ニ鑑ミマシテ、ソレヲスル約束デアルト云フノデ、今年度總額百五十万圓程追加致シマシテ、全體デ四百二十万圓ト云フ、特ニ此ノ北鮮方面ニ對スル道路網ノ完備ヲ圖リタイト云フコトヲ豫算ノ上ニハ計上致シテ居ル

次第デアリマス、尙ホ通信ニ付キマシテモ、是モヤハリ御示シノ通りデアリマス、頗ル吾々トシマシテハ不完全デアルト思ツテ居リマスガ、最近ノ情勢ニ鑑ミマシテ、最小限度ニ於テヤハリ施設ヲシナケレバナラナイト云フノデ、凡ソ三百万圓程ノ經費ヲ計上致シマシテ、北鮮ト中央トノ連絡ノ最小限度ノ需要ニ應ジタイト云フコトヲ計畫致シテ居ル次第デアリマス

尙ホ先程栗山サンカラ臺灣ニ付キマシテ、御質問ガアリマシタノデ、御參考マデニ申上ゲテ置キタイト思ヒマスガ、朝鮮總督府ニ於キマシテハ、臺灣ニ付キマシテ合邦以來昭和十三年度マデニ凡ソ二十八年ノ間ニ國費ト致シマシテ約七千五百九十万圓程ヲ臺灣ニ投ジテ居リマスルガ、最近ノ生産力擴充等ノ情勢ニ鑑ミマシテ、二十八年間ニ七千五百九十万圓程投ジテ居ル臺灣ニ對シマシテ、昭和十四年度以降凡ソ四年間位ノ間ニ經費ト致シマシテ四千餘万圓ト云フモノヲ臺灣ノ設備ニ支出スルト云フコトニ相成ツテ居リマシテ、前ノ議會、前々ノ議會——又今議會ニ於テ御協賛ヲ得マスレバ、其ノ程度ノ臺灣ニ對スル施設ハ出來ル、要シマスルニ過去二十八年間ニ七千五百九十万圓程臺灣ニ支出シテ居ルノガ、十四年度以降

凡ソ四箇年ニ——多少延ビマスガ凡ソ四箇年ノ間ニ、二十八年間ニ支出シテ參リマシタ經費ノ六割以上ト云フモノヲ支出シテ臺灣ノ施設ヲ擴充シタイト云フ計畫ニ相成ツテ居リマス、御參考マデニ申上ゲテ置キマス

○菊池委員長 關聯シテ御質問ハアリマセヌカ

○本村委員 私ハ資料ヲ一ツ御提出願ヒタイト思ヒマス、朝鮮事業公債法ニ依ル公債ノ事業別調ト云フヤウナモノ、是ハ臺灣事業公債法ニ付テモ同ジデアリマスガ、今日マデ朝鮮事業公債法ニ依ツテ幾ラノ公債ヲ出シテ、ドウ云フ事業ニドレダケノ金額ガ投ゼラレテ居ルカ、其ノ大體デ宜シウゴザイマスカラ御示シテ戴キタイ

○松山委員 此ノ間委員長ノ話デハ、委員會ハ明日モ開クト云フコトデアッタノデ、其ノ積リデ其ノ材料モ頼ンデアリ、又出シテ貫ヘサウデモアリマスノデ、明日午後カラデモ宜イカラ引續イテヤツテ戴キタイト思ヒマスガ、如何デスカ

○菊池委員長 明日午後ヤリタイト思ツテ居リマス——ソレデハ本日ハ是デ散會致シマス、次會ハ公報ヲ以テ御知ラセ致シマス午後零時十分散會